

研究課題名	胃をはじめとする各種消化器の前癌性病変の発生と悪性化の分子機構： マイクロアレイを用いたトランスクリプトーム解析と遺伝子多型解析
研究期間	実施許可日 ～2030年3月31日
研究の対象	2001年8月27日（許可日）～2028年3月31日の間に広島大学病院、共同研究機関・既存試料・情報の提供機関を受診する成人消化器腫瘍に対して手術を受けた方。コントロール群として、健常成人。
研究の目的・方法	研究目的：胃をはじめとする消化器臓器の前癌性病変の発生とその悪性化の分子基盤を明らかにすることです。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用して、消化器臓器について解析します。またご参加いただいたE-597「消化器、呼吸器腫瘍組織由来のオルガノイドを用いた遺伝子発現、薬剤感受性の解析」にて提供いただいた病理検体の残余分を使用して、免疫染色などをします。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢・性別・既往歴、血清腫瘍マーカーの測定値: CEA・CA19-9・DUPAN-2・SCC・CYFRA、病理診断報告書:組織型、組織学的悪性度、T/N/M grade、pStage等の診療録情報 試料：抽出した組織
外部への試料・情報の提供	広島大学から本研究において外部への試料・情報の提供は行いません。
利用を開始する予定日	本学における実施許可日（2001年8月27日）以降随時
個人情報の保護	本研究で使用する試料・情報は診療録から得られたデータから、氏名、患者番号、生年月日などの個人を識別可能な情報を削除し、個人情報とは無関係の番号を付け、個人情報を加工する。個人識別情報と付加番号の対応表は個人情報管理者が厳重に管理し、解析担当者には渡さない。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科 分子病理学 助教 石川光 共同研究機関 呉医療センター・中国がんセンター 倉岡 和矢 既存試料・情報の提供機関 吉島病院 吉島病院 松村 俊二 岐阜大学 岐阜大学 吉田 和弘
その他	本研究から得られたRNAシーケンスのデータを公共データベースに登録する可能性があります。その場合、個人が特定できる情報は含まれません。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学大学院医系科学研究科 分子病理学

担当者：石川 洸

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5147